（第三種郵便物認可）

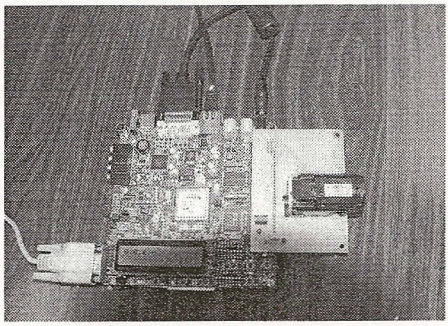
地域総合

長野のATRJと信州大工学部

最新のプラットフォームFPGAで実現する

フルHDカメラシステムを開発

【長野】アドバンスド・テクノロジー・リサーチ・ジャパン合同（ATRJ、長野市若里4―17―1信州大学工学部地域共同研究センター内、早乙女勝昭CEO&CTO）は、最新のプラットフォームFPGAで実現するFull HDカメラシステムを開発した。同社は信州大学や長野県の地元企業の協力も得て、産学の連携を推進していく。



HDカメラアプリケーション開発プラットフォーム

キットで外販も

今回開発したHCADP（HDカメラアプリケーション開発プラットフォーム）は、既に大手家電メーカへの導入が決まっているほか、キットとして外販も行う。

販売サービス体制は「防犯・警備などセキュリティ分野での使用に適している」とし、代理店ルートでの販売も行う。

HCADPは、これまで7月と9月にセミナーを開催したところ即日定員オーバーするほど人気を集めている。セミナーではHCADPシステムを紹介。ザイリンクスのMPMC（マルチポートメモリーコントローラ）を活用しフルハイビジョンカメラシステムが構築できることを説明した。9月のセミナーではメモリーセントリックなシステム構築技法として実施。セミナー定員50人に対し、100人の申し込みがあった。

ATRJは組込みシステムの企業が集結するSIP（塩尻インキュベーションプラザ）が完成と同時に同施設に入居。様々な製品開発や信州大学工学部との連携を図ってきた。しかしATRJの早乙女CEO&CTOは「信州大学工学部（長野市）と距離が離れており、より近い環境での共同研究開発体制を目指すこととした」ことから、10月1日に信州大学工学部キャンパス内にある地域共同研究センターに移転し、より密接な産学連携体制を構築することとした。

地域共同研究センターは93年4月に設置され、民間企業との共同研究の推進も主要業務の一つとなっている。インターンシップにも力を入れており、これまでにも信州大学とATRJの間でも行ってきた。

プレゼン能力など形成

信州大学工学部情報工学科の新村正明准教授は「インターンシップは学内でも推進しており、学生がスキルアップするなど成果が出ている。特にプレゼンテーション能力や企画力など総合的な人間力が形成される」とその効果を話している。

早乙女CEO&CTOは「長期のインターンシップで社会人としての人材育成につながる。当社としてはアルバイトとして働いてもらったり、卒業後採用するケースや他企業で修行した後、再度雇用させていただくケースなど様々なシーンが想定できる。いずれも大学にも企業にも大きなメリットがあり、相乗効果が期待できる」という。

予備免許の概要

局名・放送開始日	放送事業者	送信チャンネル（リモコン番号）	放送区域	世帯数
付知 試験放送 10／22 本放送 11／28	NHK（総合）	24ch（3）	中津川市の一部	約1,900
	NHK（教育）	13ch（2）		
	中部日本放送	18ch（5）		
	東海テレビ	21ch（1）		
	名古屋テレビ	22ch（6）		
	中京テレビ	19ch（4）		
	岐阜放送	32ch（8）		
坂下 試験放送 10／14 本放送 11／28	NHK（総合）	24ch（3）	中津川市の一部	約1,900
	NHK（教育）	13ch（2）		
	中部日本放送	18ch（5）		
	東海テレビ	21ch（1）		
	名古屋テレビ	22ch（6）		
	中京テレビ	19ch（4）		
	岐阜放送	32ch（8）		